

家畜解剖・実験

講師名	川畑 洋	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、家畜の生理生態を理解し、生産管理に必要な基礎知識についての講義を担当している。
-----	------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・共通	必修	2	前期	30	2
使用教科書・副教材	自作プリント、(家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編))					
授業の目的	牛の骨格、筋肉、消化器、生殖器、循環器系について、他の家畜との比較解剖学および生理学的視点も交えた講義により、基本構造を理解する。特に、雌性生殖器の解剖を通して人工授精に係る手技を想定した実習を行うことで理解を深める。					
授業の到達目標	家畜の構造を理解し、家畜の飼養管理に生かすことができる。また、家畜人工授精において、安全で衛生的な手技を行うことができるようになる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業形式	備 考 (提出物等)
4月17日	各構造物の位置と機能	牛の体の基本構造(骨格、筋肉、内臓諸臓器の位置、機能、形態の概要)を理解する	2	講義	小テスト
4月28日	骨・筋について	骨格・肢蹄・筋肉について名称・形態・機能を理解する	2	講義	小テスト
5月7日	消化器 1	消化器(口腔～胃)について、名称・形態・機能を理解する	2	講義	小テスト
5月19日	消化器 2	消化器(腸、肝臓と胆嚢)について、名称・形態・機能を理解する	2	講義	小テスト
5月26日	呼吸器・循環器1	肺、心臓、血管系について、名称・形態・機能を理解する	2	講義	小テスト
6月4日	呼吸器・循環器2	肺、心臓、血管系について、名称・形態・機能を理解する	2	講義	小テスト
6月9日	雌の生殖器	生殖器の構造、卵子の形成について、名称・形・機能を理解する	2	実習	小テスト
6月12日	解剖実習	牛の生殖器の解剖を行い、構造を観察する	4	実習	スケッチ提出 (午後家畜繁殖)
6月23日	雄の生殖器	雄の生殖器の構造、精子の形成について、名称・形態・機能を理解する	2	講義	小テスト
6月26日	解剖実習	牛の生殖器の解剖を行い、機能、形態を理解し、授精の手技を模擬体験する。	4	講義	口頭試問
8月20日	生殖器	雄・雌の生殖器の復習	2	講義	小テスト
9月1日	角・蹄・乳房	角・蹄・乳房の名称・形態・機能について	2	講義	小テスト
9月14日	まとめ	全体を通してのまとめ	2	講義	小テスト
合計			30	時間	講義22時間 実習8時間

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。
評価割合:筆記試験60%、平常点40%(受講態度、提出物、小テスト、出席状況)

履修に当たっての留意点等

授業はプリントに基づき口述、板書を主体に行う。専門用語や体組織、臓器等部位の名称を漢字で覚えること。解剖実習は解剖材料の確保状況により日程が変更する場合がある。